

川西市議会議員

きた うえ あき ひと

北上哲仁

いなほだより

2008年 夏号 VOL.24

編集：北上哲仁サポーターズ

川西市萩原台東1-275-3

1951年12月7日 第三種郵便物  
認可 社会新報/号外  
社会民主党全国連合機関紙宣  
伝局 週刊(水曜日発行)  
東京都千代田区永田町1-8-1  
電話(代)03(3580)1171  
定価180円 1ヵ月700円  
送料160円

TEL 072 - 758 - 7724 FAX 072 - 758 - 7725 http://www.kitaue.com E-mail akihito@kitaue.com

## 焦らず、怠らず

我が家にはヤマボウシの木が一本あります。この夏、初めて花が咲きました。これまで、なぜか花がつかず毎年ガッカリしていたのですが、薄黄色の花が沢山咲いたのです。春先に肥料をしっかりと与え水やりを怠らなかつたからでしょうか。手入れすれば応えてくれる、正直です。仕事も成果を出すためには、地道な積み重ねが欠かせません。言うは易し、行うは難し。でも「焦らず、怠らず(芥川龍之介)」に前進できたらと思います。



### 一般質問「学校給食でのアレルギー 一対応」拡充求める

6月定例会市議会では「学校における食物アレルギー疾患の対応について」、その拡充を求める立場から一般質問をしました。川西市では、アレルギー対応を現場の教職員の厚意に頼っている面があり、各学校の取り組みにバラツキがあります。問題点を指摘し、教育委員会に「基本的な方針を明確にし、必要な条件整備をするよう」求めました。詳しくは2ページをご覧ください。

### 川西BioTown構想 ～ホテルがとぶまち～

川西能勢口駅に隣接し皮革工場跡地や公有地等が混在する中央北地区(24ha)の土地利用について、具体的な計画のもとになる「川西BioTown構想」を市は明らかにしました。4つの基本方針のもと、地区内を5ゾーンに分類し整備する計画で、2011年度着工を目指しています。

基本方針は 環境共生型のまちのイメージをつ

くる、多世代が交流できる住宅都市としての発展をめざす、川西能勢口駅周辺と相互補完し相乗効果で賑やかで魅力あるまちづくり、市民参加型でまちづくりを進める。ゾーンは ホテルのとぶビオトープや防災公園を配置する「環境ゾーン」、福祉や医療を密接に関係させた賃貸、分譲住宅を整備する「生活ゾーン」、商業施設が集まる「集客ゾーン」、自動車や皮革関連事業の地権者が移転する「産業ゾーン」、体育館などの「公益ゾーン」です。

この中央北地区のまちづくりは、市民全体の暮らしに関わる大事業。川西市の現在と未来をしっかりと見据え取り組まなければなりません。一時的な収益ばかりに囚われるのではなく、市民の暮らしにとって真に必要なものは何なのかを考えていきたいと思っています。

4ページに、出前講座「中央北地区のまちづくり」の案内を掲載しています。

川西市議会議員  
きたうえ あきひと  
北上哲仁



一般質問 / 学校給食のアレルギー対応

## 教育委員会「除去食」に前向き答弁

川西の学校給食の献立はレベルが高く(例えば、中華スープは鶏ガラから作っている)、調理員・栄養士は専門職として誇りを持って仕事に取り組んでいます。しかし、アレルギー対応については、多くの課題があります。残念ながら除去食・代替食を提供する学校は少数です。保護者からは、改善を求める声が寄せられています。

川西の子どもたちの現状は、食物アレルギーの子どもは401人(07年度資料)。約5%の有症率。全ての小学校(16校)に食物アレルギーのある子どもが在籍(5人~54人)しています。

### < 北上の主張 >

教育委員会がアレルギー対応についての基本的な方針と必要な基準を示すべき。全ての学校で決めた基準をクリアする取り組みができるよう条件整備を。その上で、個々具体的な対応は現場での話し合いで決める。

### < 北上の提案 >

対応マニュアルの作成(対応策決定・実

施手順の明確化)

人員と調理設備の拡充(安全性を確保するための条件整備)

職員研修(必要な知識と技能を習得する機会を)

情報開示(加工品の成分表示など)

精神面での支援(アレルギー疾患が、過度の劣等感やいじめに繋がることのないように)

北上の質問に対し、教育長と担当部長が答弁にたち、食物アレルギーへの対応を拡充する必要性を認めました。全学校での除去食提供を含めて研究し、改善に努力すると約束しました。

食物アレルギーの原因は、数十年あるいは100年以上の食文化、食生活の変化にあるのではないかとされています。北上は最後に「子どもの健康を最優先して立場で献立全体を常に見直し改善をして欲しい。食育や地産地消の取り組み充実をして欲しい」と要望意見を述べました。

一般質問傍聴の感想を頂きました

『北上議員の質問と市の答弁を聞いて』  
保護者より

北上さんの一般質問を傍聴しました。アレルギーを持つ親の言いたかったこと、また市にどう訴えていけばいいのかわからない気持ちを汲み取り、ご自身で調べられたことを併せて上手くまとめ、丁寧に質問してもらえた、という感謝の気持ちでいっぱいです。

市側も「研究をすすめたい」と前向きな回答が多かったです。本当にそう思うなら、これからは具体的な日時を示して、研究を進めて、結果報告していただきたいと思いました。小学校生活は6年間という短い間です。じっくりやっていかないといけないところはじっくりと、でもすぐ出来そうなものは早めに対応していただきたいのです。

現状は、アレルギーの子は年々急速に増加しています。近隣他市がほとんど除去・代替対応している中、国からもアレルギー児に対する『学校生活管理指導表』が、各学校に配布されている中、川西市だけ、各学校の現場任せの対応をいつまでも続けていくわけには、どっちにしろいかなくなると思います。急に全てを対応するのは、大変です。今から出来ることを、前向きに、北上議員が提示したように具体的に進めていただきたいと思います。



## 視察/活動報告

### 4月13日～17日 インドネシア こんにゃく芋農場を視察



東南アジアには100種類以上のこんにゃく芋が自生。インドネシアの人々に安定した収入の道を開き「日本との架け橋」にしたいと研究を重ね、乾燥系こんにゃくを開発したのは残留元日本兵の故・石井元治さん。ジャワ島東部トレテス高原にある「むかごこんにゃく芋農場」や「乾燥系こんにゃく製造工場」を視察。石井さんが眠るお墓にもお参りしました。

こんにゃくは北上サポーターズで販売中！ご連絡くだされば、お届けします。  
乾燥系こんにゃく「ぷるんぷあん」 5袋セット2200円（1袋25g×10玉）

### 5月14日・15日 埼玉県川口市・桶川市

川口市のコミュニケーション支援事業（手話通訳者養成事業等）や桶川市の多重債務相談業務・子育て支援センター等。秘書課に多重債務相談専用窓口を設置する岩崎正男桶川市長は「多重債務者の多くは、失業や病気によって生活費や教育費が不足したのがきっかけとなっている。ギャンブルやお酒が原因となっているのは約一割」と語っていただきました。

### 5月20日 市立川西養護学校（清和台西）

不審者の校内侵入を想定した防犯訓練。教職員が、ナイフを持った侵入者から児童・生徒を守るための実践的訓練が展開。市防犯生活安全指導員の浦野博史さんが侵入者を取り押さえる方法などを迫真の演技で指導。川西養護学校では「避難が困難な児童・生徒を守るために防犯対策に力を注いでいる」とのこと。

### 6月17日 かわにしひよし保育園 ピオトープ作り

6月2日に開園した「かわにしひよし保育園」で、ピオトープづくりの様子を視察。子どもたちが、毎日の自然との関わりから優しさや生命の尊さを学んでいくでしょう。これまで議会で「保育所にピオトープを」と提案してきましたが、他の保育所でも取り組みが進むよう努力します。（西宮市は全公立保育所に整備している）



6月14日 ろうあ協会主催の防犯講習会  
不審者役は北上（市立総合センター）



6月1日 サポーターズ主催のハイキング  
川原で遊ぶ子どもたち（猪名川）



## 働いたら、せめて自立していけるだけの賃金をくれ！ 過労死に怯えないで済む人間的な労働時間をくれ！



5月10日、アステホールで「生きさせる！ 格差と戦争を考える」（「戦争で幸せになる子どもは、いない！」実行委員会主催 事務局長北上）を開催。約250人の参加がありました。

講師の雨宮処凛さんは、派遣やフリーター等の非正規労働者が如何に低賃金で過酷な労働現場におかれているか、また正社員の若者が寝たり食べたりする時間を奪われてでも働き続けなければならない実態を語りました。大企業は史上最高益を更新しているのに、そしてそれが「規制緩和」「自己責任」のスローガンのもと、財界の都合の良いような政治的判断がなされ政策的に導き出された結果であることに、言いようのない空しさと感じます。また雨宮さんは、貧困のため軍隊に入りイラク戦争に派兵される米国の若者たちの実態を語りました。格差や貧困は、戦争と直接的に結びついているのです。一方、若者たち自身が労働組合を結成し、これまでにないアピール方法で異議申し立てを行っている様子も映像で紹介されました。些かの希望を感じました。

参加者からは「フリーターは好きでやっていると思っていたが反省した」「『生きさせる』という明快な言葉が心にひびいた。それほど今の若い人たちの貧困が問題だと思う」等の感想が寄せられました。

当日はサンテレビの取材があり、夜のニュースで雨宮さんの発言が放映されました。また集会の内容は「七つ森書館」より今夏出版される単行本に掲載される予定です。



### 出前講座

#### 「中央北地区の再開発」

中央北地区土地利用基本構想について、市担当職員より説明を受けます。

と き

9月6日（土）午後2時～3時30分

ところ

川西市生涯学習センター3階 講義室2  
（川西市文化会館となり）

参加費 無料

主 催 地域に生きる川西市民の会

### < 憲法9条 > 新聞意見広告

#### ご協力、有難うございました

「憲法9条をまもり活かす意見広告」の取り組みには、個人・団体380件、150万円を超える協力金が寄せられました。サポーターの皆さんにも多くのご協力を頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。予定通り、読売新聞神戸版・阪神版に意見広告を掲載することが出来ました。小さな力でも、集まれば大きな力になるのです。

今年4月、名古屋高裁は自衛隊のイラク派兵ついて憲法9条1項に違反するとの判断を示しました。判決では「平和的生存権」について「すべての基本的人権の基礎にあって、その享有を可能ならしめる基底的权利」としています。私は、全くその通りだと思います。平和がいのちと暮らしの基本、豊かなまちづくりの基礎なのです。これからも、平和憲法をまもり活かす運動の先頭に立って、力を尽くします。

----- **しごと・くらし何でも相談** -----

普段の生活やお仕事で、困っておられることや不安なことはありませんか。  
一人で悩まないで、一緒に考えましょう。法律 年金などのご相談もお受けいたします。

**< 雇員相談員 >**

**恵須川満延行政書士 小池貞二社会保険労務士 大川一夫弁護士 在間秀和弁護士**

**連絡先 : 北上哲仁事務所 萩原台東1-275-3 ふるさと広場萩原台店 2階**

**電話072-758-7724 ファックス758-7725**